
箱の中身は何でしょう？

もくず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

箱の中身は何でしょう？

【Nコード】

N6784V

【作者名】

もくず

【あらすじ】

ある朝の男子たちの会話。

「・・・なんだこれ？」

「おはよう。どうかした？」

「ほれ、この箱」

「この箱がどうかしたの？」

「俺が来た時にはもうこの教室に置いてあったんだが」

「教室のどこに？」

「コウタの席」

「ならコウタの持ち物じゃないの？」

「あいつはまだ来てない」

「なんで分かるのさ？」

「逆に聞くが、トオル、お前は今日あのハイテンション天然野郎の声を聞いたか？」

「・・・聞いてないね。コウタがいるなら一発でわかる」

「だろう、コウタはまだ来ていない。だが、この箱は奴の席にあった」

「でもケンジ、だからってコウタのじゃないと決めつけつのもどうかと思うんだけど」

「確かにそうなんだが」

「ていうか、人様の物なんだから放っておけばいいじゃん」

「俺もそうしたいんだが。トオル、この箱に耳を当ててみる」

「うん？・・・何か音がするね。時計？」

「学校に時計なんて持つてくる奴がいるか？教室にはちゃんと時計がある」

「そつえばそうか。じゃあ、なんなのさ？」

「俺が思うに、・・・これは爆弾だ」

「爆弾！？」

「ああ。時限式のな」

「それってかなりまずいんじゃない？とにかくその箱を下に置きなよ！」

「俺もそうしたいんだが、衝撃を与えとなにが起こるか分からん」「そんな……。とにかく、先生を呼んでくる！」

「あれ、二人ともどうしたのー？」

「「コウター！」」

「おはよー。あれ、どうしてケンジがその箱を持ってるの？返してほしいなー」

「やっぱりこれはお前のだったのか？」

「そうだよ……。中身見ちゃった？」

「いや、まだだけど」

「見せてあげよう！」

「……。これは、時計？」

「そう。目覚まし時計」

「なんでこんなところに置いてあるんだ？」

「いやー、僕早起き苦手でさ。だから学校に置いておけば絶対に起きれるでしょ？」

「「どっという理屈だ！」」

「え？目覚ましが鳴るでしょ？僕がそれを止めないといけないでしょ？で、学校まで止めに行くのさ」

「「……。」「」

「で、止めた後、朝ご飯を食べに家に戻って、また学校に来るの！完璧でしょ！」

「「……。」「」

「二人とも、どうしたの？」

「「あほか！！」「」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6784v/>

箱の中身は何でしょう？

2011年10月9日12時37分発行